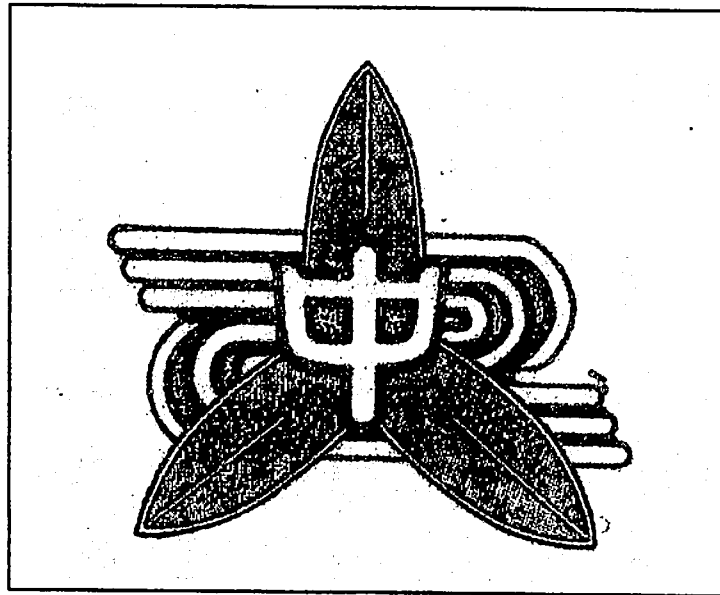


平成19年度

# 学校課題評価のまとめ



狭山市立入間川中学校

1 はじめに

より多くの方々から信頼される学校を創造することは学校教育の使命です。そのためには、教育活動や学校全体の様子を見定めるため実施します。そして、これらの評価や反省に基づき、学校の課題や要望等を学校の主役である生徒、それを支える保護者や地域の方々と共に、学校・家庭・地域が一体となって特色ある学校づくりを推進していくことをねらいとしています。

2 評価者 学校評議員 PTA役員 生徒会本部 学級委員 教職員

3 締切り 平成20年 1月24日(火)

4 評価について 別紙

評価基準

A できた(思う) B ややできた(やや思う)  
C ややできない(やや思わない) D できない(思わない)

5 評価の公表等

評価結果を基に来年度の教育課程編成の資料とするとともに、平成20年度の入間川中学校の特色ある学校づくりの参考資料とします。評価などについては、学校評議員会、校長と語る会、保護者会などで公表します。

6 記入上でお願ひしたこと

- ・評価は、来年度に向けての改善の方向性や改善点を明らかにするようにお願いいたします。
- ・評価は単なる学校批判や個人批判、評論的なものにならないようにし、より建設的なものになるようにお願いいたします。
- ・項目について、評価できないものは空欄でもかまいません。
- ・個人で評価できない場合は、保護者、知り合い、友人等と協議されてもかまいません。

7 評価で留意したこと

- ①外部評価方式を採用し、教職員も評価者に加えた。
- ②評価者には、年度当初に学校課題を示すとともに、評価項目を提示した。
- ③より具体的な評価を可能にするため、意見提言の記述欄を設けた。
- ④評価しにくい項目については、他の方(友人・子ども)に相談可とした。

8 終わりに

本年度の評価者は、学校評議員11人、生徒会本部役員15人、学級委員24人、PTA本部役員22人、学年委員24人、広報委員24人、校外生活委員21人、健全育成推進委員26人、計167名に依頼した。回収率は、約73.1%だった。評価の達成基準として、Aできた(思う)、Bややできた(やや思う)を含め達成率を60~70%に設定した。ほとんどの項目で達成したとの評価をいただいた。また、全体の達成率の平均も70%を超えた評価であった。しかし、生徒の家庭学習の取組、道徳教育の充実の項目は達成率が低かった。また、教育環境や開かれた学校づくりにおいては、記述欄に様々な意見・提言をいただいた。特に気になることは、いじめ等に早めに気づき、もっと早く生徒の気持ちを理解して対応してほしい、子どもが授業の中で疑問点など意見を発言したら先生はよく聞いていただきたいとの記述があった。このような意見・提言を真摯に受け止め、日々の教育活動をとおして、主体的な学校生活を支援するために信頼される学校を目指したい。

# 確かな学力の向上(学習指導)

目 標	評価項目	生徒				計	教師				計	PTA				計
		A	B	C	D		A	B	C	D		A	B	C	D	
・教科目標を意識した授業の展開 ・分かる授業、できる授業 ・学習意欲を高めるきめ細やかな少人数指導、T.T指導 ・学びの内容、評価の目安(シラバス)の配布・課題設定、 ・課題解決に結びつく総合的な学習や選択教科の充実 ・各教科、外部指導者を招いての授業研究の実施	①授業の課題が明確であり、学ぶ内容が分かった	9	25	5	0	39	16	4	0	0	20					
		23.1%	64.1%	12.8%	0.0%		80.0%	20.0%	0.0%	0.0%						
	②板書、プリント等を使い授業に工夫がみられた	13	21	5	0	39	10	10	0	0	20					
		33.3%	53.8%	12.8%	0.0%		50.0%	50.0%	0.0%	0.0%						
	③授業に意欲的に取り組んだ	10	26	3	0	39	2	15	3	0	20	9	27	19	1	56
		25.6%	66.7%	7.7%	0.0%		10.0%	75.0%	15.0%	0.0%		16.1%	48.2%	33.9%	1.8%	
	④家庭学習に定期的に取り組んだ	6	17	14	2	39	8	6	6	0	20	4	18	27	13	62
	15.4%	43.6%	35.9%	5.1%		40.0%	30.0%	30.0%	0.0%		6.5%	29.0%	43.5%	21.0%		
⑤シラバスは保護者にとって役に立っている						6	7	7	0	20	5	31	16	8	60	
						30.0%	35.0%	35.0%	0.0%		8.3%	51.7%	26.7%	13.3%		
⑥総合学習などの体験的な学習は役に立った	11	22	3	3	39	11	9	0	0	20	27	29	4	1	61	
	28.2%	56.4%	7.7%	7.7%		55.0%	45.0%	0.0%	0.0%		44.3%	47.5%	6.6%	1.6%		
⑦通知表は学習状況を知ることのできる内容である						12	8	0	0	20	18	35	9	1	63	
						60.0%	40.0%	0.0%	0.0%		28.6%	55.6%	14.3%	1.6%		
		達成度				82.05%	達成度				88.57%	達成度				67.22%
記述から	・③授業中にざわついたり、真剣に取り組んでいない人がいるので対応を求む。・授業進度について各教科担当同士の打合せが十分必要である。・ふざけている人がまじめに受けている人の迷惑になっている。そこを何とかした方がよいと思う。・プリントを使った授業はまとめやすく分かりやすい。今後も続けてほしい。・⑥体験的な学習、挨拶や礼儀を身につけるためのとても良い機会になった。今後もそういう学習をやってほしい。・②生徒が授業に積極的に参加したくなるような工夫があまりなく退屈なことがあった。・理解しやすく意欲的に取り組めたため、家庭でも勉強を意識できた。・少人数、T.T指導を教科書に合わせて進めた方がよいと思う。教科によっては先生が2人分かれていて、2人の進め方や早さ、内容が違い困ったので改善されたい。・ゆとり教育というものもありますが、もっと応用的なものも授業に取り入れてもいいと思います。・受験を控えた学年であるということで、先生方の指導も質が高かったと思います。・①参加型の授業が少ない。・授業によって課題が曖昧だったので、しっかり伝えた方がいいと思いました。具体的実践の中で、していないものもあるので、実際にしたほうがもっと良くなると思います。また、工夫された授業があって、良かったです。・④について、「生活記録ノート」などを活用することで、生徒の学習状況を把握するように努めたい。・③分かるー楽しい、やりがいへつなげる授業を日々やっていった。のためにも、落ち着いた環境作り＝生活指導が必要。・1年生の授業で感じることは、50分間集中力が持続できない子が目立つことです。学習(授業)に対する興味・関心をいかに高めていけるかが課題です。・取り組んでいる内容については、とても評価できますが、内容(授業)を理解できていない子どもに対して、最後まで目を向けてあげてほしい。・学習案内は、学習内容が把握できて良かった。・英語や数学のドリルの宿題を増やしてほしい。・子どもが授業の中で疑問点など意見を発言したら、先生は聞いていただきたい。・総合学習での職場体験は、労働という良い経験により学ぶことの多い学習機会であり、今後の進路を考える上で役に立ち本人の真剣さを引き出してくれた。・家庭学習は、決まった時間に取り組めていない。・通知票より三者面談の方がよく分かりました。・通知表もだが学習計画表はとても見やすく子どもの取組がわかる。・挨拶や制服の乱れについて、生徒会、先生方が解決に向けて取り組んでいると聞きましたが、是非、続けてください。併せて、眉毛を剃る、描くなど中学生としての身だしなみとは思えません。															
考察・評価	・課題を明確にした授業を展開し、さらに個に応じた学習指導を進めるためには、指導内容・指導方法の工夫、改善が急務であり、基礎、基本の定着を固つつ、主体的な学習を推進するための方策として、少人数指導やT.T指導をさらに充実させていく必要がある。数学科、英語科等の学力の向上については、保護者、生徒ともに願っている。また、学ぶ意欲を高めるための板書や学習資料の工夫については、生徒たちは高く評価している。一方、家庭学習の定期的な取組については、生徒、保護者ともに、習慣化が身につけていない状況がうかがえるので、家庭と協力しながら進めていくことが必要である。 ・問題発見能力、課題解決能力などの「生きる力」を育成するための様々な体験的な活動は、方法や内容を工夫し推進していくことが必要である。															

# 豊かな心を育てる(学校生活)

目 標	評価項目	生徒				計	教師				計	PTA				計
		A	B	C	D		A	B	C	D		A	B	C	D	
・所属感、連帯感を育む学級、生徒会、学校行事の実施 ・生徒一人一人にあった支援策の検討 ・奉仕活動、体験・交流活動で思いやりの心を育てる ・生徒の良いところを伸ばし、発信する ・生徒指導、教育相談部会の定期開催 ・進路・キャリア教育の充実 ・道徳教育の充実	①行事等は、生徒が活躍する場面が多くあった	25	14	0	0	39	18	2	0	0	20	37	21	3	1	62
		64.1%	35.9%	0.0%	0.0%		90.0%	10.0%	0.0%	0.0%		59.7%	33.9%	4.8%	1.6%	
	②行事等に地域がよく協力してくれた	17	15	7	0	39	14	6	0	0	20	22	28	10	0	60
		43.6%	38.5%	17.9%	0.0%		70.0%	30.0%	0.0%	0.0%		36.7%	46.7%	16.7%	0.0%	
	③生徒が楽しみにしている行事がたくさんある	13	19	6	1	39	16	4	0	0	20	18	32	13	0	63
		33.3%	48.7%	15.4%	2.6%		80.0%	20.0%	0.0%	0.0%		28.6%	50.8%	20.6%	0.0%	
	④学校生活がたのしく入間川中学校が好きである	13	24	2	0	39	8	11	1	0	20	26	25	10	1	62
		33.3%	61.5%	5.1%	0.0%		40.0%	55.0%	5.0%	0.0%		41.9%	40.3%	16.1%	1.6%	
⑤学校の決まりを守っている	7	25	6	1	39	5	7	8	0	20	6	34	19	3	62	
	17.9%	64.1%	15.4%	2.6%		25.0%	35.0%	40.0%	0.0%		9.7%	54.8%	30.6%	4.8%		
⑥問題があれば先生方はきちんと注意してくれた	10	17	12	0	39	11	8	1	0	20	20	29	11	3	63	
	25.6%	43.6%	30.8%	0.0%		55.0%	40.0%	5.0%	0.0%		31.7%	46.0%	17.5%	4.8%		
⑦進路学習の授業時間を確保し、役に立っている	7	23	5	1	36	9	7	0	2	18	15	26	14	1	56	
	19.4%	63.9%	13.9%	2.8%		50.0%	38.9%	0.0%	11.1%		26.8%	46.4%	25.0%	1.8%		
⑧道徳の授業時間を確保し、役に立っている	4	21	11	2	38	4	13	0	0	17	11	34	12	3	60	
	10.5%	55.3%	28.9%	5.3%		23.5%	76.5%	0.0%	0.0%		18.3%	56.7%	20.0%	5.0%		
		達成度				82.47%	達成度				92.26%	達成度				78.69%

・⑥何かあれば先生はすぐに注意し、その対応はよかったと思う。 ・学校のきまりを守る人を助やすには、何をすればいいの？。 ・行事等に地域が協力してくれたのはよかった。 ・⑧先生たちは全員の生徒に目を向けて、問題を起こす前に注意してほしい。 ・行事などで生徒が仕切ってる姿が多々見られた。 ・他校にはない収穫祭等があると思う。 ・生徒指導がとても積極的だ。様々な物事に迅速に対応して下さったため、楽しく生活できた。 ・担任の先生は生徒を考えてくれている。注意をして下さった。 ・道徳や学活は他の授業に変えられやすいので注意した方がよい。 ・生徒会本部役員だったこともあり、地域の方との交流は多かったと思う。ただ、⑥については、毎回身だしなみの悪い生徒には、注意しなくなったり、もっと、注意していただきたいと感じました。 ・学校全体をみると服装など、決まりを守っていない人が見受けられました。もっと注意したり決まりを守るよう声かけをした方がいいと思います。 ・先生は私たちの進路についてよく考えていて、心強かったです。 ・⑤について、服装の乱れている生徒が増えてきているように感じる。制服の着方については、基準を明確化した方が、生徒への指導がスムーズではないかと思う。 ・生徒の規範意識が低下している。徹底した指導が必要だと思う。 ・一部生徒が制服を大きく崩している。また、清掃に取り組まない者もいるので見かけたときに声かけを。 ・体育祭、なでしこ祭を中心に、様々な行事には、よく取り組んでいると思われる。 ・清掃や委員会活動など、日頃の活動への取組が以前より弱まっているように感じる。今後は、生徒会(委員会)活動を活性化させていくべきである。 ・道徳や奉仕活動は人生に大きな影響を与えたいと思います。豊かな心を育てることで学校全体の雰囲気は良くなると思われます。 ・生徒だけでなく、先生方も来校者に対しての挨拶が少ないように感じます。 ・なでしこ祭で模擬店のお手伝いに生徒がけいけいしたり、生徒との交流が持て良かったです。 ・今年度の初めに学校に行ったとき、あいさつ子どもがしなくなったと感じたが、最近少し良くなってきたような気がする。 ・担任の先生が子どもの良い面を見つけ、本人にアドバイスしてくれたことが本人のやる気につながったと思います。また、意見を否定せず、聞いてくれたことも良かったと思います。 ・各よりなどは、学校の様子が分かって良い。 ・行事に取り組む準備、協力する姿勢、その他生徒それぞれが力を発揮する機会が多くあるのはよいことだと思うが、一部の生徒のみの活動になっていないか、必要な行事であるか再検討してもらいたい。

・誰もが、良さや可能性を伸ばし、豊かな学校生活を送りたいと願っている。そして、連帯感、所属感を味わえる学校生活は、生徒たちの心を磨き「生きる力」を醸成する。そのためには、生徒の発達の状況を捉えて、一人一人の生徒が活躍できる行事の充実と奉仕活動、ボランティア活動、体験・交流活動等を適切に設定していくことが大切である。このことを通して、自ら主体的に活動する事の大切さと併せて、他人を思いやる心や互いを認め合う心、協力することの大切さ、正義感、規範意識など道徳教育と連動しながら充実させていくことが求められる。  
 ・積極的な生徒指導の推進、一人一人の生徒の支援については、教育相談体制の更なる充実が必要である。

# 安全で安心な学校(教育環境)

目 標	評価項目	生徒				計	教師				計	PTA				計
		A	B	C	D		A	B	C	D		A	B	C	D	
・保護者と連携して、いじめ等の早期発見、早期対応 ・定期的な学校生活アンケート実施 ・状況に応じた、避難訓練、不審者対応 ・定期安全点検、通学路点検 ・交通安全教室、自転車点検	①学校は、いじめ等について素早く取り組んだ	1	19	11	6	37	12	8	0	0	20	12	29	8	2	51
		2.7%	51.4%	29.7%	16.2%		60.0%	40.0%	0.0%	0.0%		23.5%	56.9%	15.7%	3.9%	
	②安全を高めるための指導や訓練をした(してくれた)	10	20	7	1	38	10	10	0	0	20	12	35	11	1	59
		26.3%	52.6%	18.4%	2.6%		50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		20.3%	59.3%	18.6%	1.7%	
	③安全確保のための情報を提供した(してくれた)	16	15	7	1	39	12	8	0	0	20	18	32	9	1	60
		41.0%	38.5%	17.9%	2.6%		60.0%	40.0%	0.0%	0.0%		30.0%	53.3%	15.0%	1.7%	
	④施設・設備の安全性は十分確保されている	3	17	10	7	37	8	11	1	0	20	10	36	10	0	56
		8.1%	45.9%	27.0%	18.9%		40.0%	55.0%	5.0%	0.0%		17.9%	64.3%	17.9%	0.0%	
		達成度				66.89%	達成度				98.75%	達成度				81.42%
記述から	・いじめ等に早めに気付き、対応した方がよいと思う。 ・できれば格技場の窓に黒幕をつけてほしい。 ・いじめ等をもっとよく探す方法を考えていきたい。 ・もっと早く生徒の苦しみに気付いてほしい。 ・これからも安全で安心な学校にしてほしい。 ・④クーラーをつけてほしい。扇風機だけでもだいぶ変わるが、中央の人は涼しくない。 ・危険な場所には、バトロールをする人をつけた方がよいと思う。 ・目立った活動ではなかったけど安全であったし(②・③・④)暮らしやすかった。いじめについてはあまりよい対応は見受けられなかった。 ・④委員会など協力して学校の安全性に働いてくれた。 ・①もっと素早く取り組むべきだと思った。 ・不審者の出没などの連絡は素早く伝わったので良かったと思います。 ・いじめなどはあると感じたことがないのでよく分かりませんが、安全面については良かったと思います。 ・②避難訓練は、自然災害の時のことはやっていた良いのですが、最近急増(?)している不審者に関すること(避難、対応の方法)をあまり知りません。2年前に言った(1の2)の不審者対策・避難経路はどうなりましたか? ・不審者がはいったり、いじめの問題等、よく聞いたので、もう少し早めの対応などをしてほしいです。 ・不審者が学校にはいれるということは、安全があまり確保されていないと思うので、戸締まり等もう少し気をつけた方がいいと思いました。 ・いじめなどのアンケートをとって実際に「いじめられた。」とっているのに対応があまりないと思う。 ・①職員の観察眼、情報を伝え、互いに子どものことを語り合う。・・・ここが良くできているので大きな問題にならないうちに解決できていると思う。とても頼りになります。様々な先生がともに指導して下さる、学年全体の問題として生徒たちにも投げかけて下さるので、本当に助かります。 ・「いじめ」問題については、年2回のアンケートを軸に学級、学年で取り組んでいる方向でよいと思う。 ・細かく調査アンケートを行い、素早い対応をして下さっていると思います。続けていただきたく思っています。 ・不審者情報のお知らせは、家族全員が注意できることなので役に立ちました。 ・生徒に対する指導、教員のみならずによる点検等も行き届いていると思われる。 ・地区懇談会は中身の濃いものであった。自治会長さんのお顔が分かって良かった。 ・アンケート等で数字は把握できるが、その後の対応は、詳しく伝わっていないように思う。 ・安全指導等の指導を行っていても、登下校の様子を見ていると前から人が来ていても歩道を広がっている姿をよく見かけます。															
考察・評価	・いじめはどの学校にもあるという認識のもと学校・家庭・地域が一体となり、「いじめをしない、させない、許さない」環境をつくるのが肝要である。これまでも、全校集会で、校長先生による命の大切さについての講話、道徳や学活の時間に、生命尊重や思いやりの大切さについて指導、いじめに関するアンケートの実施とともに、学級指導や個人面談の取組、学校からのたより等で、保護者・地域の方に協力依頼と連携推進、ボランティアによるあいさつ運動や登下校時の見守りなどの取組を実施してきた。さらに、人権の学習の中で、差別や偏見があってはならないことの指導等、学校生活のあらゆる場面で指導を行ってきた。今後も、実態を把握し、迅速な対応と継続的な取組を行う。 ・校舎の老朽化に伴う危険箇所については、今後も市教委と連携し、計画的な解決を図っていく。定期安全点検と併せて、臨時・随時の安全点検を実施して、潜在的危険箇所の発見に努める。 ・生徒の安全に係る危機管理能力を育成するため、保護者、地域と連携しながら、今後も粘り強く取り組んでいくことが必要である。															

## 地域との連携の推進(開かれた学校)

目 標	評価項目	生徒				計	教師				計	PTA				計
		A	B	C	D		A	B	C	D		A	B	C	D	
・保護者会等で学校目標を分かりやすく説明 ・外部評価の実施 ・月1回以上の各たよりの発行 ・地域の人材の活用 ・学校公開の拡大、情報発信 ・地域資源の活用と連携 ・地域行事に積極的参加 ・学校評議員の定期開催 ・生徒会との意見交換の場の拡大 ・定期的に、学校を公開する	①学校の教育方針・努力点は明確である	2	19	12	4	37	15	5	0	0	20	23	31	5	1	60
		5.4%	51.4%	32.4%	10.8%		75.0%	25.0%	0.0%	0.0%		38.3%	51.7%	8.3%	1.7%	
	②教育活動に地域の人材を登用できた(授業が増えた)	7	22	6	3	38	12	7	1	0	20	14	30	9	1	54
		18.4%	57.9%	15.8%	7.9%		60.0%	35.0%	5.0%	0.0%		25.9%	55.6%	16.7%	1.9%	
	③学校、学年、学級、保健だよりを発行した(よく読んだ)	13	9	13	3	38	10	5	2	2	19	28	29	2	1	60
		34.2%	23.7%	34.2%	7.9%		52.6%	26.3%	10.5%	10.5%		46.7%	48.3%	3.3%	1.7%	
	④地域の活動や行事に協力し、参加した	9	15	12	2	38	10	9	1	0	20	17	28	9	2	56
	23.7%	39.5%	31.6%	5.3%		50.0%	45.0%	5.0%	0.0%		30.4%	50.0%	16.1%	3.6%		
	⑤学校評議員会の内容を周知した(知っている)	8	2	7	21	38	7	9	3	1	20	31	24	3	1	59
		21.1%	5.3%	18.4%	55.3%		35.0%	45.0%	15.0%	5.0%		52.5%	40.7%	5.1%	1.7%	
	⑥学校は、生徒・地域の意見・要望等に対応している	8	16	9	5	38	13	6	1	0	20	13	31	13	1	58
		21.1%	42.1%	23.7%	13.2%		65.0%	30.0%	5.0%	0.0%		22.4%	53.4%	22.4%	1.7%	
	⑦学校行事、授業公開などで来校者が増えた	7	17	11	1	36	7	11	2	0	20	26	25	11	0	62
		19.4%	47.2%	30.6%	2.8%		35.0%	55.0%	10.0%	0.0%		41.9%	40.3%	17.7%	0.0%	
		達成度				58.56%	達成度				90.65%	達成度				85.57%
記述から	・学校評議員の活動をもう少し、報告などするとわかると思う。 ・今までの学校評議員会の内容をもっと知りたい。 ・③プリントを紙飛行機にしたり、その場ですぐに捨ててしまう人がいるので、もっと生徒自身が考えるべきである。 ・②高校生の人を招き授業を行ったのはよいアイデアだと思う。来年もこういったことをやっていけばいいと思う。 ・来校者は増えたけど、挨拶ができていない人が多かった。やはり挨拶対策は徹底すべき。 ・②⑦参観日や公開日が増えたと思う。地域と交流できたと思う。 ・教育方針を意識させるような指導をすべきだ。 ・③それぞれを読む時間がないので読めなかった。 ・外部の人を招いての授業はとても参考になった。 ・②依然と変わっていないなと思いますが、多いのでは?と思います。 ・⑥扇風機、ありがとうございます。 ・③手紙等あまり読まない人がいるので、もう少し声をかけたりした方がいいと思いました。(いいことが書いてあるので) ・来校者は増えたと思いますが、決まったときにしか多く来ないかなと思うので、もっと地域等に呼びかけた方がいいと思いました。 ・もっと土曜参観を増やしてほしい。 ・②について、実習については、地域の方に協力してもらい、授業を進めていきたいと考えている。 ・③写真の多い学校だよりには生徒たちはよく反応しています。毎回ありがとうございます。学年だよりも予定や生徒の作文などを載せていただき助かっています。学級だよりにはとても手が回りません。 ・生徒が学校評議員会に参加し意見を述べるーそれをしっかり受け止めてくださる。とてもありがたかったです。出席した生徒も一歩一歩大人になれました。 ・学年、学級だよりは自分の担当ではないが教科としてのものを作成したり、他の先生方の手伝いを率先して行いたい。 ・開かれた学校づくりの一端で「開かれた学校評議員会」として、生徒会本部役員や時には自治会長がオブザーバー参加する体制は、今後も続けていくと良いと思います。 ・校長先生と生徒会本部役員との語る会も学校づくりの面で大切な場であると思います。その内容を教職員も生徒もいかに全体に知らしめるかが課題です。 ・⑥保護者へのアンケートは記名にした方がよいと思います。(自分の意見に責任を持ちたい。) ・地域の中の学校とは解っているが、地域の活動に協力する前に、まず、学校での活動にしっかり取り組むようにさせたいと思っています。															
考察・評価	・地域に根づく学校の創造は、学校、保護者、地域が三位一体となって連携協力しながら教育を推進することである。そのためには、学校は家庭や地域への情報発信基地としての機能を持たなければならない。今後も、学校、学年、学級だより等でより有益な情報を発信し、教育活動をさらに理解してもらえる努力をしなければならない。 ・地区懇談会は、地域の声を聞き、教育活動の方向性や理解を得る良い機会である。参加した方の意見等を十分教育活動に生かすことが重要であり、参加の方法や計画を工夫していくことが必要である。 ・学校評議員会の内容の周知、地域人材の活用等は、今後もより具体的に地域に知らせ協力を得ることが大切である。 ・語る会も学校づくりの面で大切な場である。その内容を教職員も生徒もいかに全体に知らしめるかが課題である。															

## 学びの継続性の推進(小中連携)

目 標	評価項目	生徒				計	教師				計	PTA				計
		A	B	C	D		A	B	C	D		A	B	C	D	
・教職員間の共同実践(合同研修会、交流授業、授業参観) ・学校行事、特別活動、クラブ・部活動の交流 ・体験入学の実施・不登校、生徒指導上の情報交換・PTA行事の交流	①合同研修は、児童・生徒指導上、役に立った						8	9	3	0	20					
							40.0%	45.0%	15.0%	0.0%						
	②授業公開、参観、合同研修を通して、学びの継続性につながった						7	12	1	0	20					
							35.0%	60.0%	5.0%	0.0%						
③ 小中教師間等連携が深まった							9	7	4	0	20					
							45.0%	35.0%	20.0%	0.0%						
④ 今後とも小中連携は継続する必要がある							13	6	1	0	20					
							65.0%	30.0%	5.0%	0.0%						
		達成度				#DIV/0!	達成度				88.75%	達成度				#DIV/0!

記述から  
 ・現状では、やらないよりやった方がよいかも知れないが、目に見えた成果はないと思います。小中の学びの継続性(発展性)は、今後の課題です。  
 ・合同研修会を通して、小中の連携や学びの継続性について、重要な事である。  
 ・小中の連携は、学習から生徒指導まで、多岐にわたるのでより連携を深めていく必要があります。  
 ・交流授業、授業参観をとおして、生徒の実態や学習経験を知ることができた。

考察・評価  
 ・学びの連続性を推進するためには、9年間を見通した小中の継続した連携が必要不可欠である。小中相互の交流授業、授業参観、合同研修会等を中核に据えた連携の強化が学習指導の工夫改善につながり、学びの継続性を推進することになる。  
 ・小中連携を推進するために、今後も、相互交流を進めるとともに、幼保小中の連携を深めることも大切である。

生徒				計	教師				計	PTA				計
A	B	C	D		A	B	C	D		A	B	C	D	
229	440	184	64	917	303	240	46	5	594	422	699	257	47	1425
達成度				72.96%	達成度				91.41%	達成度				78.67%